



INDEX

ACL

レイヤ 3 インターフェイスへの IPv6 ACL の適用 [39-22](#)

数字

10/100 自動ネゴシエーション機能、強制 [6-12](#)

10 ギガビット イーサネット ポート

ギガビット イーサネット SFP ポートの配置 [6-7](#)

10 ギガビット イーサネット ポートまたはギガビット イーサネット ポート

WS-X4606-10GE-E および Supervisor Engine 6-E への配置 [6-8](#)

1400 W DC SP トリプル入力電源装置

特記事項 [10-18](#)

1400 W DC 電源装置

特記事項 [10-17](#)

802.10 SAID (デフォルト) [13-4](#)

802.1Q

他の機能を備えたトンネル ポート [22-6](#)

トランク [17-6](#)

トンネリング

説明 [22-2](#)

他の機能との互換性 [22-5](#)

デフォルト [22-4](#)

802.1Q VLAN

カプセル化 [15-3](#)

トランクの制約事項 [15-5](#)

802.1s

「MST」を参照

802.1w

「MST」を参照

802.1X

「ポートベースの認証」を参照

802.1X 認証

MAC 認証バイパスを使用 [34-9](#)

RADIUS アカウンティング [34-16](#)

VLAN 割り当てを使用 [34-7](#)

Wake-on-LAN [34-12](#)

音声 VLAN ポートを使用 [34-18](#)

クリティカル認証 [34-12](#)

ゲスト VLAN を使用 [34-8](#)

ポートセキュリティによる [34-14](#)

802.1x の許可ポート [34-4](#)

802.1x の無許可ポート [34-4](#)

802.3ad

「LACP」を参照

A

AAA [36-1](#)

ACE

ACL [39-2](#)

IP [39-2](#)

レイヤ 4 演算の制約事項 [39-16](#)

ACE および ACL [36-1](#)

ACL

ACE [39-2](#)

CPU への影響 [39-18](#)

IP、ポート ACL の一致基準 [39-4](#)

MAC 拡張 [39-20](#)

SPAN [43-5](#)

Supervisor Engine 6-E の TCAM プログラミング [39-15](#)

Supervisor Engine II-Plus から V-10GE の TCAM プログラミング [39-6](#)

TCAM プログラミング アルゴリズム [39-7](#)

TCAM プログラミング アルゴリズムの変更 [39-9](#)
 TCAM リージョンのサイズ変更 [39-10](#)
 VLAN マップ [39-5](#)
 VLAN マップでの設定 [39-31](#)
 同じスイッチでの互換性 [39-3](#)
 概要 [39-2](#)
 高 CPU のトラブルシューティング [39-12](#)
 サポートされるタイプ [39-3](#)
 処理 [39-18](#)
 スイッチド パケットへの適用 [39-32](#)
 制御パケットのキャプチャのモード選択 [39-12](#)
 ハードウェアおよびソフトウェアのサポート [39-5](#)
 ポート
 音声 VLAN [39-5](#)
 制限事項 [39-5](#)
 定義 [39-3](#)
 ルータ ACL の一致基準 [39-3](#)
 ルーテッド パケットへの適用 [39-32](#)
 ACL および VLAN マップ、例 [39-25](#)
 AQM、DBL 経由の、Supervisor Engine 6-E での
 QoS [32-88](#)
 ARP
 定義済み [4-31](#)
 テーブル
 アドレス解決 [4-31](#)
 管理する [4-31](#)
 Auto-MDIX、ポート上の
 概要 [6-20](#)
 設定 [6-21](#)
 設定の表示 [6-22](#)
 Auto-QoS
 設定 [32-18](#)
 auto-sync コマンド [8-9](#)

B

BackboneFast
 MST [17-23](#)
 概要 [18-14](#)

サポートされていない MST [17-23](#)
 スイッチの追加 (図) [18-4](#)
 設定 [18-17](#)
 リンク障害 (図) [18-15, 18-16](#)
 「STP」も参照
 BGP [1-8](#)
 Multi-VRF CE によるルーティング セッショ
 ン [31-7](#)
 boot bootldr コマンド [3-32](#)
 boot system flash コマンド [3-29](#)
 boot system コマンド [3-27, 3-32](#)
 boot コマンド [3-28](#)
 BPDU
 疑似ブリッジ [17-25](#)
 内容 [17-3](#)
 メディア速度 [17-2](#)
 BPDU ガード
 MST [17-23](#)
 概要 [18-8](#)
 設定 [18-17](#)
 BSR
 設定例 [29-22](#)

C

CDP
 インターフェイス上でのイネーブル化 [23-3](#)
 概要 [1-2, 23-1](#)
 コミュニティ内の自動検出 [12-6](#)
 信頼境界と [32-27](#)
 設定 [23-2](#)
 設定の表示 [23-3](#)
 メンテナンス [23-3](#)
 モニタリング [23-3](#)
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング [22-7](#)
 cdp enable コマンド [23-3](#)
 CEF [27-9](#)
 NSF/SSO [9-5](#)
 イネーブル化 [27-6](#)

- 概要 [27-1](#)
- ソフトウェア スイッチング [27-4](#)
- 統計情報の表示 [27-8](#)
- ハードウェア スイッチング [27-4](#)
- 隣接関係テーブル [27-2](#)
- ロード バランシング [27-6](#)
- ロード バランシングの設定 [27-7](#)
- CGMP
 - 概要 [20-1](#)
- channel-group group コマンド [19-8, 19-10](#)
- Cisco 7600 シリーズ インターネット ルータ
 - SNMP のイネーブル化 [50-16](#)
- Cisco Discovery Protocol
 - 「CDP」を参照
- Cisco Group Management Protocol
 - 「CGMP」を参照
- Cisco IOS NSF 対応サポート [9-1](#)
- Cisco IOS NSF 認識
 - サポート [9-1](#)
- Cisco IP Phone
 - 音質 [33-1](#)
 - 設定 [33-2](#)
- CiscoWorks 2000 [45-4](#)
- CIST
 - 説明 [17-23](#)
- class-map コマンド [32-34](#)
- clear cdp counters コマンド [23-4](#)
- clear cdp table コマンド [23-3](#)
- clear counters コマンド [6-24](#)
- clear ip eigrp neighbors コマンド [26-19](#)
- clear ip flow stats コマンド [46-10](#)
- CLI
 - 1 レベル後退 [2-5](#)
 - ROM モニタ [2-7](#)
 - アクセス [2-1](#)
 - 環境のモニタリング [43-1](#)
 - クラスタを管理する [12-12](#)
 - コマンドの取得 [2-5](#)
 - ソフトウェアの基礎知識 [2-4](#)
 - ヒストリ置換 [2-3](#)
 - モード [2-5](#)
- Common and Internal Spanning-Tree
 - 「CIST」を参照
- Common Spanning-Tree
 - 「CST」を参照
- config-register コマンド [3-29](#)
- config terminal コマンド [3-9](#)
- configure terminal コマンド [3-29, 6-2](#)
- CoPP
 - 概要 [36-2](#)
 - コントロールプレーン コンフィギュレーション モード
 - 開始 [36-4](#)
 - 制御プレーン コンフィギュレーション モードの開始 [36-4](#)
 - 制御プレーンへの QoS サービス ポリシーの適用 [36-4](#)
 - 設定
 - MLS QoS のイネーブル化 [36-4](#)
 - サービスポリシー マップ [36-4](#)
 - トラフィックと照合する ACL [36-4](#)
 - パケット分類基準 [36-4](#)
 - 統計のモニタリング [36-8](#)
 - 表示
 - ダイナミックな情報 [36-8](#)
 - 適合バイト数およびパケット数 [36-8](#)
 - レート情報 [36-8](#)
- copy running-config startup-config コマンド [3-10](#)
- copy system:running-config nvram:startup-config コマンド [3-32](#)
- CoS
 - Cisco IP Phone での変更 [33-5](#)
 - 図 [32-2](#)
 - 定義 [32-3](#)
 - プライオリティ [33-5](#)
- CoS/DSCP マップ [32-59](#)
- CoS 値、インターフェイスの設定 [32-54](#)
- CoS 変換
 - 設定 [32-42](#)

CPU、ACL 処理の影響 [39-18](#)

CPU ポートのスニッフィング [43-11](#)

CST

IST [17-23](#)

MST [17-23](#)

説明 [17-26](#)

Customer Edge デバイス [31-2](#)

D

description コマンド [6-14](#)

DHCP Option 82

概要 [37-4](#)

DHCP スヌーピング

Option 82 データ挿入 [37-4](#)

イネーブル化 [37-8](#)

イネーブル化、オプション 82 [37-10](#)

概要 [37-1](#)

集約スイッチ上でのイネーブル化 [37-10](#)

情報の表示 [37-17](#)

スヌーピング データベース エージェント [37-3](#)

設定 [37-7](#)

設定の表示 [37-17](#)

データベース エージェントのイネーブル化 [37-13](#)

デフォルト設定 [37-8](#)

バインディング テーブルの表示 [37-17](#)

非信頼パケット形式エッジ スイッチを受信する [37-11](#)

プライベート VLAN 上でのイネーブル化 [37-12](#)

メッセージ交換プロセス [37-4](#)

モニタリング [37-21](#)

DHCP スヌーピング データベース エージェント

TFTP ファイルからの読み取り (例) [37-15](#)

イネーブル化 (例) [37-13](#)

概要 [37-3](#)

データベースへの追加 (例) [37-16](#)

DHCP ベースの自動設定

BOOTP との関係 [3-3](#)

概要 [3-2](#)

クライアント要求メッセージの交換 [3-3](#)

設定

サーバ側 [3-4](#)

設定する

DNS [3-5](#)

TFTP サーバ [3-4](#)

クライアント側 [3-2](#)

リレー デバイス [3-5](#)

リース オプション

IP アドレス情報 [3-4](#)

設定ファイルを受信する [3-4](#)

例 [3-7](#)

DiffServ アーキテクチャ、QoS [32-2](#)

DiffServ コード ポイント値

「DSCP 値」を参照

disconnect コマンド [7-6](#)

DNS

DHCP ベースの自動設定と [3-5](#)

概要 [4-15](#)

設定する [4-16](#)

設定を表示する [4-17](#)

デフォルト設定 [4-16](#)

DoS 攻撃

IP アドレス スプーフィング、軽減 [28-5](#)

ユニキャスト RPF、展開 [28-5](#)

DSCP/CoS マップ

設定 [32-61](#)

DSCP 値

IP precedence [32-2](#)

送信キューへのマッピング [32-56](#)

定義 [32-4](#)

マークダウンのマッピング [32-25](#)

マップの設定 [32-59](#)

DSCP 値、ポート値の設定 [32-55](#)

DSCP マップ [32-59](#)

DTP

VLAN トランク [15-3](#)

duplex コマンド [6-13](#)

Dynamic Buffer Limiting

グローバルに [32-28](#)

特定 CoS 値 [32-31](#)

特定 IP DSCP 値 [32-30](#)

Dynamic Host Configuration Protocol スヌーピング

「DHCP スヌーピング」を参照

E

EAPOL フレーム

802.1X 認証 [34-3](#)

OTP 認証、例 (図) [34-4](#), [34-11](#)

Start [34-3](#)

EAP フレーム

Request/Identity [34-3](#)

Response/Identity [34-3](#)

交換 (図) [34-4](#), [34-6](#), [34-11](#)

再送信回数の設定 [34-45](#)

再送信時間の変更 [34-44](#)

EGP

概要 [1-8](#)

EIGRP

設定例 [26-19](#)

モニタリングおよびメンテナンス [26-19](#)

eigrp stub コマンド [26-18](#)

EIGRP (拡張 IGRP)

概要 [1-8](#)

スタブ ルーティング

概要 [26-13](#)

確認 [26-18](#)

制約事項 [26-17](#)

設定 [26-13](#)

設定作業 [26-18](#)

利点 [26-17](#)

EIGRP スタブ ルーティング、設定 [26-12](#)

enable コマンド [3-9](#), [3-29](#)

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol

「EIGRP」を参照

EtherChannel

channel-group group コマンド [19-8](#), [19-10](#)

interface port-channel コマンド [19-7](#)

lacp システム プライオリティ

コマンド例 [19-12](#)

PAgP

概要 [19-3](#)

port-channel load-balance コマンド [19-13](#)

インターフェイスの削除 [19-14](#)

概要 [19-1](#)

削除 [19-14](#)

設定 [19-6](#) ~ [19-14](#)

設定時の注意事項 [19-5](#)

物理インターフェイス設定 [19-7](#)

ポートチャネル インターフェイス [19-2](#)

モード [19-3](#)

レイヤ 2 の設定 [19-9](#)

レイヤ 3 の設定 [19-6](#)

EtherChannel ガード

イネーブルにする [18-7](#)

概要 [18-6](#)

ディセーブルにする [18-7](#)

Explicit Host Tracking

イネーブル化 [20-10](#)

Extensible Authentication Protocol over LAN [34-1](#)

Exterior Gateway Protocol

「EGP」を参照

F

FIB

「MFIB」も参照

説明 [27-2](#)

G

get-bulk-request オペレーション [45-3](#)

get-next-request オペレーション [45-3](#), [45-4](#)

get-request オペレーション [45-3](#), [45-4](#)

get-response オペレーション [45-3](#)

H

hello タイム (STP)

設定 17-18

HSRP

説明 1-7

http

//www.cisco.com/en/US/docs/ios/fundamentals/comm
and reference/cf_book.html 47-1, 44-1

hw-module module num power コマンド 10-20

I

ICMP

IP traceroute の実行 7-8

PING 7-7

Time-Exceeded メッセージ 7-8

イネーブル化 7-12

IDS

SPAN と RSPAN で使用 43-2

IEEE 802.1s

「MST」を参照

IEEE 802.1w

「MST」を参照

IEEE 802.3ad

「LACP」を参照

IGMP

Explicit Host Tracking 20-4, 20-10

イネーブル化 29-14

概要 20-1

設定可能な Leave タイマー 20-4

設定可能な脱退タイマー

イネーブルにする 20-8

説明 29-3

即時脱退処理 20-3

脱退処理、イネーブルにする 21-9

レポート抑制

ディセーブルにする 21-11

IGMP グループ

最大番号を設定する 20-21

IGMP スヌーピング

IP マルチキャスト 29-4

イネーブル化 20-5, 20-6

イネーブルとディセーブル 21-6

概要 20-1

設定時の注意事項 20-5

デフォルト設定 21-5, 21-6

モニタリング 20-13, 21-11

IGMP 即時脱退

設定時の注意事項 20-8

IGMP フィルタリング

設定する 20-19

説明 20-19

デフォルト設定 20-19

モニタリング 20-22

IGMP プロファイル

コンフィギュレーション モード 20-19

設定する 20-20

適用する 20-20

IGRP

説明 1-9

interface port-channel コマンド 19-7

interface range macro コマンド 6-5

interface range コマンド 6-4

interface コマンド 3-9, 6-1

Interior Gateway Routing Protocol

「IGRP」を参照

IP

スタティック ルートの設定 3-12

デフォルト ゲートウェイの設定 3-11

統計情報の表示 27-8

フロー スイッチング キャッシュ 46-10

ip cef コマンド 27-6

IP Enhanced IGRP

インターフェイス、表示 26-19

ip flow-aggregation cache destination-prefix コマン
ド 46-12

ip flow-aggregation cache prefix コマンド 46-12

- ip flow-aggregation cache source-prefix コマンド [46-12](#)
- ip flow-export コマンド [46-10](#)
- ip icmp rate-limit unreachable コマンド [7-12](#)
- ip igmp profile コマンド [20-19](#)
- ip igmp snooping tcn flood query count コマンド [20-13](#)
- ip igmp snooping tcn flood コマンド [20-12](#)
- ip igmp snooping tcn query solicit コマンド [20-13](#)
- ip load-sharing per-destination コマンド [27-7](#)
- ip local policy route-map コマンド [30-5](#)
- ip mask-reply コマンド [7-13](#)
- IP MTU サイズ、設定 [26-8](#)
- ip multicast-routing コマンド [29-13](#)
- IP Phone
 - 「Cisco IP Phone」を参照 [33-1](#)
 - 音声ポートの設定 [33-3](#)
- ip pim dense-mode コマンド [29-14](#)
- ip pim sparse-dense-mode コマンド [29-15](#)
- ip pim コマンド [29-14](#)
- ip policy route-map コマンド [30-4](#)
- ip redirects コマンド [7-13](#)
- ip route-cache flow コマンド [46-8](#)
- IP traceroute
 - 概要 [7-8](#)
 - 実行する [7-9](#)
- ip unreachable コマンド [7-12](#)
- IPX
 - EIGRP によるルート情報の再配布 [1-8](#)
- IP アドレス
 - クラスタ コマンド スイッチ [12-11](#)
 - クラスタの候補またはメンバ [12-12](#)
 - 検出する [4-31](#)
- IP アンナンバード サポート
 - DHCP オプション 82 [14-2](#)
 - DHCP サーバとリレー エージェントでの [14-2](#)
 - LAN および VLAN インターフェイスに対する設定 [14-4](#)
 - イーサネット VLAN 範囲に対する設定 [14-5](#)
 - エージェント リモート ID サブオプションの形式 [14-3](#)
- 接続したホストのポーリングでの [14-3](#)
- 接続したホストのポーリングでの設定 [14-6](#)
- 設定の表示 [14-8](#)
- トラブルシューティング [14-9](#)
- IP 情報
 - 割り当て
 - DHCP ベースの自動設定を介して [3-2](#)
- IP ソース ガード
 - 概要 [37-18](#)
 - 設定 [37-19](#)
 - 表示 [37-20, 37-21](#)
 - プライベート VLAN 上での設定 [37-20](#)
- IP 電話
 - QoS の信頼境界 [32-27](#)
 - 自動分類とキューイング [32-18](#)
- IP 統計情報
 - 表示 [27-8](#)
- IP ポートセキュリティ、スタティック ホスト用
 - PVLAN ホスト ポートでの [37-26](#)
 - レイヤ 2 アクセス ポート [37-23](#)
- IP マルチキャスト
 - IGMP スヌーピング [20-4, 29-4](#)
 - PIM 情報の表示 [29-16](#)
 - イネーブル化 [29-13](#)
 - 概要 [29-1](#)
 - 監視 [29-16](#)
 - サポートされない機能 [29-12](#)
 - スパース モードのイネーブル化 [29-14](#)
 - 設定 [29-12](#)
 - ソフトウェア転送 [29-8](#)
 - テーブル エントリの削除 [29-21](#)
 - デフォルト設定 [29-13](#)
 - デンス モード PIM のイネーブル化 [29-14](#)
 - ハードウェア転送 [29-8](#)
 - ルーティング テーブル情報の表示 [29-16](#)
 - ルーティング プロトコル [29-2](#)
 - 「Auto-RP」「IGMP」「PIM」「RP」「RPF」も参照
- IP ユニキャスト
 - 統計情報の表示 [27-8](#)

IP ルーティング テーブル

エントリの削除 [29-21](#)

ISL

802.1Q トンネリングによるトランッキング [22-4](#)

カプセル化 [15-3](#)

ISSU

Cisco Feature Navigator を使用した互換性の検証 [5-14](#)

NSF の概要 [5-4](#)

SNMP サポート [5-14](#)

SSO の概要 [5-4](#)

互換性マトリクス [5-13](#)

サポートするソフトウェアのバージョン許容範囲 [5-12](#)

制約事項 [5-2](#)

前提条件 [5-2](#)

プロセスの概要 [5-7](#)

プロセスの実行

ISSU ステータスの確認 [5-17](#)

新しくスタンバイになったスーパーバイザエンジンへの新しいソフトウェアのロード [5-24](#)

互換性マトリクスの表示 [5-29](#)

冗長モードの確認 [5-16](#)

スタンバイ スーパーバイザ エンジンへの新しいソフトウェアのロード [5-18](#)

スタンバイ スーパーバイザ エンジンへの切り替え [5-21](#)

セーフガードとしてのロールバック タイマーの設定 [5-27](#)

ソフトウェア アップグレードの中断 [5-26](#)

ソフトウェア インストールの確認 [5-15](#)

ロールバック タイマーの停止 [5-23](#)

IST

MST リージョン [17-23](#)

説明 [17-23](#)

マスター [17-28](#)

L

l2protocol-tunnel コマンド [22-11](#)

LACP

システム ID [19-4](#)

logoutwarning コマンド [7-6](#)

M

MAC アドレス

ACL での [39-20](#)

DHCP スヌーピング バインディング テーブルでの表示 [37-17](#)

VLAN との対応付け [4-20](#)

エージング タイム [4-21](#)

検出する [4-31](#)

スタティック

許可する [4-30](#)

削除する [4-28](#)

追加する [4-28](#)

特性 [4-27](#)

ドロップする [4-30](#)

スティッキ [35-4](#)

スティッキ セキュア、追加 [35-5](#)

ダイナミック

削除する [4-22](#)

ラーニング [4-20](#)

ダイナミックからスティッキ セキュアへの変換 [35-5](#)

テーブルの作成 [4-20, 15-2](#)

デフォルト設定 [4-21](#)

表示する [4-30, 7-3](#)

割り当て [17-6](#)

MAC アドレス リダクション [17-2](#)

MAC 拡張アクセス リスト [39-20](#)

MAC 認証バイパス

802.1X の設定 [34-34](#)

main-cpu コマンド [8-9](#)

mask destination コマンド [46-12](#)

mask source コマンド [46-12](#)

match ip address コマンド [30-3](#)

MDA

- 設定時の注意事項 [34-19 ~ 34-20](#)
 - 説明 [34-19](#)
 - MFIB
 - CEF [29-5](#)
 - 概要 [29-11](#)
 - 高速ドロップ エントリの表示 [29-20](#)
 - サポートされるフラグ [29-11](#)
 - 表示 [29-19](#)
 - MIB
 - SNMP の相互作用 [45-4](#)
 - 概要 [45-1](#)
 - 関連情報 [50-15](#)
 - コンパイル [50-15](#)
 - ダウンロード [50-14, 50-15](#)
 - MLD Done メッセージおよび即時脱退 [21-4](#)
 - MLD クエリー [21-3](#)
 - MLD スヌーピング
 - MLD Done メッセージおよび即時脱退 [21-4](#)
 - MLD クエリー [21-3](#)
 - MLD メッセージ [21-2](#)
 - MLD レポート [21-4](#)
 - 概要 [21-1](#)
 - マルチキャスト クライアント エージングの堅牢性 [21-3](#)
 - マルチキャスト ルータ検出 [21-3](#)
 - MLD メッセージ [21-2](#)
 - MLD レポート [21-4](#)
 - MST
 - BPDU [17-23](#)
 - PVST+ とのインターオペラビリティ [17-23](#)
 - SST とのインターオペラビリティ [17-25](#)
 - イネーブル化 [17-30](#)
 - インスタンス
 - サポートされる数 [17-26](#)
 - 説明 [17-23](#)
 - パラメータの設定 [17-32](#)
 - エッジ ポート [17-28](#)
 - 境界ポート [17-27](#)
 - コンフィギュレーション パラメータ [17-26](#)
 - 制約事項 [17-29](#)
 - 設定 [17-30](#)
 - 設定の表示 [17-33](#)
 - 複数のスパニングツリー [1-3, 17-22](#)
 - ホップ カウント [17-28](#)
 - マスター [17-28](#)
 - メッセージ エージ [17-28](#)
 - リージョン [17-26, 17-27](#)
 - リンク タイプ [17-28](#)
 - MSTP
 - EtherChannel ガード
 - イネーブルにする [18-7](#)
 - M ツリー [17-23](#)
 - M レコード [17-23](#)
 - MTUS
 - 概要 [6-18](#)
 - MTU サイズ
 - 設定 [6-19, 6-26, 6-27](#)
 - デフォルト [13-5](#)
 - Multiple Spanning-Tree
 - 「MST」を参照
 - Multiple VPN Routing/Forwarding
 - 「Multi-VRF CE」を参照
 - Multi-VRF CE
 - コンポーネント [31-4](#)
 - 設定例 [31-8](#)
 - 定義 [31-1](#)
 - デフォルト設定 [31-4](#)
 - ネットワーク コンポーネント [31-4](#)
 - パケット転送処理 [31-4](#)
 - M ツリー [17-23](#)
 - M レコード [17-23](#)
-
- ## N
- NetFlow
 - destination-prefix 集約
 - 最小マスク、設定 [46-12](#)
 - 設定 (例) [46-17](#)

IP

フロー スイッチング キャッシュ **46-10**

prefix 集約

最小マスク、設定 **46-11**

設定 (例) **46-14**

source-prefix 集約

最小マスク、設定 **46-12**

集約

最小マスク、デフォルト値 **46-11**

スイッチング

キャッシュ エントリのエクスポート **46-9**

収集のイネーブル化 **46-8**

スイッチド IP フローの設定 **46-8**

設定 (例) **46-13**

統計情報 **46-10**

必要なハードウェアの確認 **46-6**

NetFlow 統計情報

キャッシュ エントリのエクスポート **46-9**

収集機能の概要 **46-1**

収集機能の設定 **46-6**

収集のイネーブル化 **46-7**

スイッチド/ブリッジド IP フロー **46-8**

スーパーバイザの注意事項 **46-6**

必要なハードウェアの確認 **46-6**

Network Assistant

CLI コマンドの概要 **12-2**

VTY **12-11**

設定する

スイッチとの通信を可能にする **12-13, 12-17**

デフォルト設定 **12-2**

Next Hop Resolution Protocol

「NHRP」を参照

NFFC/NFFC II

IGMP スヌーピング **20-5**

NHRP

サポート **1-8**

Nonstop Forwarding

「NSF」を参照

NSF

注意事項および制約事項 **9-9**

定義 **9-1**

動作 **9-5**

NSF/SSO スーパーバイザ エンジンの冗長構成

CEF **9-5**

SSO の動作 **9-4**

概要 **9-4**

NSF 対応

サポート **9-1**

スーパーバイザ エンジン **9-3**

NSF 認識

サポート **9-1**

スーパーバイザ エンジン **9-3**

NTP

アクセスを制限する

アクセス グループを作成する **4-9**

インターフェイスごとに NTP サービスをディ
セーブルにする **4-10**

アソシエーション

サーバ **4-6**

定義済み **4-2**

認証する **4-4**

ピア **4-6**

ブロードキャスト メッセージをイネーブルにす
る **4-7**

概要 **4-2**

時刻

サービス **4-2**

同期をとる **4-2**

設定を表示する **4-11**

層 **4-2**

送信元 IP アドレス、設定する **4-10**

デバイスの同期をとる **4-6**

デフォルト設定 **4-4**

NVRAM

設定値の保存 **3-10**

O

OIR

概要 [6-23](#)

Open Shortest Path First

「OSPF」を参照

OSPF

エリア概念 [1-10](#)

説明 [1-9](#)

P

PACL、VLAN マップおよびルータ ACL [39-37](#)

PACL、アクセス グループ モードとの併用 [39-35](#)

PAgP

概要 [19-3](#)

PBR (ポリシーベース ルーティング)

イネーブル化 [30-3](#)

概要 [30-1](#)

機能 [30-2](#)

使用する場合 [30-2](#)

設定 (例) [30-5](#)

ルート マップ [30-2](#)

PE/CE ルーティング、設定 [31-7](#)

Per-Port and VLAN Access Control List [37-18](#)

Per-VLAN Rapid Spanning Tree [17-6](#)

イネーブル化 [17-20](#)

概要 [17-6](#)

PIM

概要 [29-3](#)

情報の表示 [29-16](#)

スパース / デンス モードのイネーブル化 [29-15](#)

スパース モードの設定 [29-14](#)

デンス モードの設定 [29-14](#)

統計情報の表示 [29-20](#)

PIM-DM [29-3](#)

PIM-SM [29-4](#)

ping

概要 [7-7](#)

実行する [7-7](#)

ping コマンド [7-7, 29-16](#)

PoE [11-7](#)

show interface status [11-6](#)

スイッチの電力消費量の設定 [11-5](#)

単一デバイスの電力消費量の設定 [11-5](#)

電力管理モード [11-2](#)

モジュールの電源切断 [10-20](#)

police コマンド [32-39](#)

policy-map コマンド [32-34, 32-37](#)

port-channel load-balance

コマンド [19-12](#)

コマンド例 [19-12](#)

port-channel load-balance コマンド [19-13](#)

PortFast

BPDU フィルタ、設定 [18-10](#)

MST [17-23](#)

概要 [18-7](#)

設定またはイネーブル化 [18-17](#)

PortFast BPDU フィルタリング

MST [17-23](#)

イネーブル化 [18-10](#)

概要 [18-9](#)

power dc input コマンド [10-17](#)

power inline consumption コマンド [11-5](#)

power inline コマンド [11-3](#)

power redundancy-mode コマンド [10-11](#)

PVACL [37-18](#)

PVID (ポート VLAN ID)

音声 VLAN ポートを使用した 802.1X [34-18](#)

PVLAN

802.1Q サポート [40-13](#)

VLAN の設定 [40-13](#)

概要 [40-1](#)

設定 [40-10](#)

インターフェイス モード [40-22](#)

設定時の注意事項 [40-11](#)

複数のスイッチ [40-6](#)

ポート セキュリティの設定 [35-13, 35-15, 35-17](#)

ホスト ポート

設定 [40-22](#)

レイヤ 2 インターフェイスの設定 [40-17](#)

無差別ポートの設定 [40-16](#)

無差別モード

設定 [40-22](#)

ルーティングの許可、例 [40-22](#)

レイヤ 2 EtherChannel でのポート セキュリティの設定 [35-32](#)

ワイヤレス環境でのポート セキュリティの設定 [35-32](#)

PVLAN 無差別トランク ポート

設定 [40-2](#), [40-16](#), [40-20](#)

PVQoS

イネーブル化 [32-49](#)

概要 [32-17](#)

Q

QoS

IP 電話

検出と信頼済みの設定 [32-18](#), [32-27](#)

自動分類とキューイング [32-18](#)

PVQoS の概要 [32-17](#)

PV のイネーブル化 [32-49](#)

UBRL の設定 [32-43](#)

VLAN ベース [32-53](#)

イネーブル化およびディセーブル化 [32-52](#)

インターフェイス上でのイネーブル化 [32-41](#)

インターフェイス上でのディセーブル化 [32-41](#)

階層型ポリサーのイネーブル化 [32-47](#)

概要 [32-1](#)

基本モデル [32-5](#)

自動 QoS

NVRAM 設定の影響 [32-20](#)

VoIP 用にイネーブル化 [32-20](#)

設定時の注意事項 [32-20](#)

設定とデフォルト表示 [32-21](#)

説明 [32-18](#)

表示 [32-21](#)

信頼状態

信頼済みデバイス [32-27](#)

設定

Dynamic Buffer Limiting [32-28](#)

トラフィック シェーピング [32-58](#)

設定時の注意事項 [32-26](#)

自動 QoS [32-20](#)

設定する

DSCP マップ [32-59](#)

自動 QoS [32-18](#)

信頼境界 [32-27](#)

送信レート [32-58](#)

ソフトウェア処理されるパケット [32-18](#)

帯域幅の割り当て [32-57](#)

定義 [32-3](#)

デフォルト自動設定 [32-19](#)

デフォルト設定 [32-25](#)

トラフィック シェーピング [32-17](#)

名前付き集約ポリサーの作成 [32-32](#)

バースト サイズ [32-33](#)

パケットの変更 [32-17](#)

プライオリティ [32-16](#)

フローチャート [32-8](#), [32-13](#)

分類 [32-6](#) ~ [32-10](#)

ポートベース [32-53](#)

ポリシング ルールの作成 [32-34](#)

レイヤ 2 インターフェイス上での VLAN ベースの設定 [32-53](#)

レイヤ 2 制御パケット QoS の設定、概要 [32-62](#)

レイヤ 2 制御パケット QoS の設定、機能の相互作用 [32-66](#)

レイヤ 2 制御パケット QoS の設定、注意事項 [32-65](#)

「COS」「DSCP 値」「キューの送信」も参照

QoS、Supervisor Engine 6-E での

DBL 経由のアクティブ キュー管理 [32-83](#), [32-88](#)

MQC ベースの QoS 設定 [32-69](#)

アクション ドライバのマーク付け [32-77](#)

共有（帯域幅） [32-83](#)

共有（帯域幅）、シェーピング、およびプライオリティキュー **32-81**

サービスポリシーの適用に関する制約事項 **32-72**

サービスポリシーを適用するための前提条件 **32-72**

シェーピング **32-81**

設定 **32-69**

ソフトウェア QoS **32-91**

トラフィック マーキング手順のフローチャート **32-77**

ネットワーク トラフィックのマーク付け **32-74**

プライオリティキューイング **32-86**

プラットフォームでサポートされる分類基準および QoS 機能 **32-69, 32-71**

プラットフォームの制約事項 **32-74**

プラットフォーム ハードウェアの機能 **32-72**

分類 **32-73**

ポリシーの関連付け **32-91**

ポリシー マップ マーキング アクションの設定 **32-79**

ポリシング **32-73**

ポリシングの実装方法 **32-74**

マーキング用のハードウェア機能 **32-79**

マルチ属性マーキングのサポート **32-78**

QoS アクティブ キュー管理

キュー長の追跡 **32-15**

QoS サービス ポリシー

前提条件 **32-72**

適用に関する制約事項 **32-72**

QoS の送信キュー

DHCP 値のマッピング **32-56**

概要 **32-15**

最大速度 **32-17**

設定 **32-56**

帯域幅の割り当て **32-57**

トラフィック シェーピングの設定 **32-58**

バースト **32-17**

リンク帯域幅の共有 **32-16**

QoS のマッピング テーブル

CoS/DSCP **32-59**

DSCP/CoS **32-61**

種類 **32-15**

ポリシング済み DSCP **32-60**

QoS ポリサー

種類 **32-10**

バースト サイズ **32-33**

QoS ポリシー

インターフェイスへの対応付け **32-12**

設定の概要 **32-34**

QoS ポリシング

説明 **32-5, 32-10**

定義 **32-5**

QoS マーキング

説明 **32-5**

QoS ラベル

定義 **32-3**

Quality of Service

「QoS」を参照

R

RADIUS サーバ

スイッチ上のパラメータ **34-25**

スイッチとの通信設定 **34-25**

設定 **34-27**

range コマンド **6-4**

rcommand コマンド **12-12**

reload コマンド **3-29, 3-30**

RFC

1157、SNMPv1 **45-2**

1305、NTP **4-2**

1757、RMON **47-2**

1901、SNMPv2C **45-2**

1902 ~ 1907、SNMPv2 **45-2**

2273-2275、SNMPv3 **45-2**

RIP

説明 **1-10**

RMON

アラームとイベントをイネーブルにする **47-4**

概要 [47-1](#)

サポートされるグループ [47-2](#)

ステータスを表示する [47-7](#)

デフォルト設定 [47-3](#)

ROM モニタ

CLI [2-7](#)

起動プロセス [3-26](#)

route-map (IP) コマンド [30-3](#)

Routing Information Protocol

「RIP」を参照

RPF

「ユニキャスト RPF」を参照

RSPAN

IDS [43-2](#)

VLAN ベース [43-5](#)

宛先ポート [43-5](#)

受信トラフィック [43-3](#)

セッション

VLAN のモニタ [43-24](#)

作成する [43-19](#)

送信元 (モニタ対象) ポートの削除 [43-23](#)

定義済み [43-3](#)

特定の VLAN に対する送信元トラフィックを制限する [43-26](#)

モニタリングされるポートを指定する [43-19](#)

設定時の注意事項 [43-18](#)

送信トラフィック [43-4](#)

送信元ポート [43-4](#)

モニタリングされるポート [43-4](#)

モニタリング ポート [43-5](#)

RSTP

互換性 [17-24](#)

説明 [17-22](#)

ポート ステート [17-24](#)

ポートの役割 [17-24](#)

「802.10 SAID」を参照

Security Association Identifier

「802.10 SAID」を参照

service-policy input コマンド [25-2, 32-41](#)

service-policy コマンド [32-34](#)

set default interface コマンド [30-4](#)

set interface コマンド [30-3](#)

set ip default next-hop コマンド [30-4](#)

set ip next-hop コマンド [30-3](#)

set-request オペレーション [45-4](#)

show adjacency コマンド [27-9](#)

show boot コマンド [3-32](#)

show catalyst4000 chassis-mac-address コマンド [17-3](#)

show cdp entry コマンド [23-4](#)

show cdp interface コマンド [23-3](#)

show cdp neighbors コマンド [23-4](#)

show cdp traffic コマンド [23-4](#)

show cdp コマンド [23-2, 23-3](#)

show ciscoview package コマンド [4-34](#)

show ciscoview version コマンド [4-34](#)

show cluster members コマンド [12-12](#)

show configuration コマンド [6-14](#)

show debugging コマンド [23-4](#)

show environment コマンド [10-2](#)

show history コマンド [2-4](#)

show interfaces status コマンド [7-2](#)

show interfaces コマンド [6-19, 6-24, 6-26, 6-27](#)

show ip cache flow aggregation destination-prefix コマンド [46-12](#)

show ip cache flow aggregation prefix コマンド [46-12](#)

show ip cache flow aggregation source-prefix コマンド [46-12](#)

show ip cache flow コマンド [46-10](#)

show ip cef コマンド [27-8](#)

show ip eigrp interfaces コマンド [26-19](#)

show ip eigrp neighbors コマンド [26-19](#)

show ip eigrp topology コマンド [26-19](#)

show ip eigrp traffic コマンド [26-19](#)

show ip interface コマンド [29-16](#)

S

SAID

- show ip local policy コマンド 30-5
- show ip mroute コマンド 29-16
- show ip pim interface コマンド 29-16
- show l2protocol コマンド 22-12
- show mac-address-table address コマンド 7-3
- show mac-address-table interface コマンド 7-3
- show mls entry コマンド 27-8
- show module コマンド 7-1, 17-6
- show power inline consumption コマンド 11-5
- show power inline コマンド 11-6
- show power supplies コマンド 10-11
- show protocols コマンド 6-24
- show running-config コマンド
 - ACL を表示する 39-25, 39-28, 39-34, 39-35
 - インターフェイスの記述の追加 6-14
 - 設定の確認 3-10
- show startup-config コマンド 3-10
- show users コマンド 7-6
- show version コマンド 3-29, 3-30
- shutdown、コマンド 6-25
- Single Spanning-Tree
 - 「SST」を参照
- SmartPort マクロ
 - グローバルパラメータ値の適用 16-8
 - 作成 16-8
 - 設定時の注意事項 16-6
 - 定義 16-1
 - デフォルト設定 16-4
 - トレース 16-7
 - パラメータ値の適用 16-9
 - 表示 16-13
 - マクロの適用 16-8
- Smartport マクロ
 - 設定 16-2
- SNMP
 - MIB 変数にアクセスする 45-4
 - TFTP サーバによるアクセスを制限する 45-15
 - エージェント
 - 説明 45-4
 - ディセーブルにする 45-7
 - エンジン ID 45-6
 - 概要 45-1, 45-4
 - グループ 45-6, 45-9
 - コミュニティストリング
 - 概要 45-4
 - 設定する 45-7
 - サポートされるバージョン 45-2
 - システム接点と場所 45-15
 - システムログメッセージを NMS に対して制限する 44-10
 - 情報
 - イネーブルにする 45-14
 - 説明 45-5
 - トラップキーワードと 45-11
 - トラップとの違い 45-5
 - ステータス、表示する 45-17
 - 設定時の注意事項 45-6
 - 設定例 45-16
 - 通知 45-5
 - デフォルト設定 45-6
 - トラップ
 - MAC アドレス通知をイネーブルにする 4-22
 - MAC 移動通知のイネーブル化 4-25
 - MAC しきい値通知のイネーブル化 4-26
 - イネーブルにする 45-11
 - 概要 45-1, 45-4
 - 情報との違い 45-5
 - 説明 45-3, 45-5
 - タイプ 45-11
 - トラップ マネージャ、設定する 45-13
 - 認証レベル 45-10
 - ホスト 45-6
 - マネージャ機能 45-3
 - 有効化 50-16
 - ユーザ 45-6, 45-9
- SNMPv1 45-2
- SNMPv2C 45-2
- SNMPv3 45-2

SNMP コマンド 50-16

SPAN

ACL 43-5

IDS 43-2

VLAN ベース 43-5

宛先ポート 43-5

受信トラフィック 43-3

セッション

定義済み 43-3

設定 43-7 ~ 43-11

設定時の注意事項 43-7

送信トラフィック 43-4

送信元ポート 43-4

モニタ対象ポート、定義 43-4

モニタリングポート、定義 43-5

spanning-tree backbonefast コマンド 18-17

spanning-tree cost コマンド 17-16

spanning-tree guard root コマンド 18-2

spanning-tree portfast bpdu-guard コマンド 18-9

spanning-tree portfast コマンド 18-8

spanning-tree port-priority コマンド 17-13

spanning-tree uplinkfast コマンド 18-13

spanning-tree vlan

コマンド 17-9

コマンド例 17-9

spanning-tree vlan cost コマンド 17-16

spanning-tree vlan forward-time コマンド 17-19

spanning-tree vlan hello-time コマンド 17-18

spanning-tree vlan max-age コマンド 17-19

spanning-tree vlan port-priority コマンド 17-14

spanning-tree vlan priority コマンド 17-17

spanning-tree vlan root primary コマンド 17-10

spanning-tree vlan root secondary コマンド 17-12

spanning-tree vlan コマンド 17-8

SPAN および RSPAN

概念と用語 43-3

概要 43-1

ステータスの表示 43-27

セッション限度 43-6

デフォルト設定 43-6

SPAN 拡張機能

CPU ポートのスニッフィング 43-11

アクセス リスト フィルタリング 43-14

カプセル化の設定 43-13

設定例 43-17

入力パケット 43-13

パケットタイプ フィルタリング 43-16

speed コマンド 6-12

SSO

設定 9-10

SSO の動作 9-4

SST

インターオペラビリティ 17-25

説明 17-23

STP

EtherChannel ガード

ディセーブルにする 18-7

hello タイム 17-18

Per-VLAN Rapid Spanning Tree 17-6

Per-VLAN Rapid Spanning Tree のイネーブル化 17-20

イネーブル化 17-8

概要 17-1, 17-3

拡張システム ID のイネーブル化 17-9

最大エージング タイム 17-18

設定 17-7 ~ 17-20

ディセーブルにする 17-20

デフォルト 17-7

転送遅延時間 17-19

トポロジの作成 17-5

ブリッジ ID 17-2

ポート コスト 17-16

ポート プライオリティ 17-13

ルート ブリッジ 17-10

レイヤ 2 プロトコル トンネリング 22-8

Supervisor Engine 6-E での QoS

階層型ポリシー 32-89

Supervisor Engine II-TS

不十分なインライン パワーの処理 [10-18, 11-11](#)

Supervisor Engine II-TS でインライン パワーが不足した場合の処理 [10-18](#)

SVI 自動ステート除外

概要 [26-3](#)

設定 [26-7](#)

switchport access vlan コマンド [15-7, 15-9](#)

switchport block multicast コマンド [41-2](#)

switchport block unicast コマンド [41-2](#)

switchport mode access コマンド [15-9](#)

switchport mode dot1q-tunnel コマンド [22-6](#)

switchport mode dynamic コマンド [15-7](#)

switchport mode trunk コマンド [15-7](#)

switchport trunk allowed vlan コマンド [15-7](#)

switchport trunk encapsulation dot1q コマンド [15-4](#)

switchport trunk encapsulation isl コマンド [15-4](#)

switchport trunk encapsulation negotiate コマンド [15-4](#)

switchport trunk encapsulation コマンド [15-7](#)

switchport trunk native vlan コマンド [15-7](#)

switchport trunk pruning vlan コマンド [15-7](#)

T

TACACS+ [36-1](#)

アカウントティング、定義済み [3-17](#)

概要 [3-16](#)

許可、定義済み [3-17](#)

サーバを指定する [3-18](#)

設定する

アカウントティング [3-22](#)

許可 [3-21](#)

認証キー [3-18](#)

ログイン認証 [3-19](#)

設定を表示する [3-22](#)

操作 [3-17](#)

デフォルト設定 [3-18](#)

認証、定義済み [3-16](#)

ユーザに対するサービスを制限する [3-21](#)

ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキングする [3-22](#)

TCAM プログラミング アルゴリズム

変更 [39-9](#)

TCAM プログラミング アルゴリズム、概要 [39-7](#)

TCAM プログラミングおよび ACL [39-10, 39-12](#)

Supervisor Engine II-Plus から V-10GE [39-6](#)

TCAM プログラミングと ACL、Supervisor Engine 6-E の [39-15](#)

TCAM リージョン、アルゴリズムの変更 [39-9](#)

TCAM リージョン、サイズ変更 [39-10](#)

TDR

ケーブル接続の確認 [7-3](#)

注意事項 [7-3](#)

テストの開始および中止 [7-3](#)

Telnet

CLI へのアクセス [2-2](#)

実行 [7-5](#)

ユーザ セッションの切断 [7-6](#)

ユーザ セッションのモニタリング [7-6](#)

telnet コマンド [7-5](#)

Terminal Access Controller Access Control System Plus

「TACACS+」を参照

TFTP

サーバによるアクセスを制限する [45-15](#)

自動設定を設定する [3-4](#)

ベース ディレクトリの設定ファイル [3-5](#)

Time Domain Reflectometer (TDR)

「TDR」を参照

Time-Exceeded メッセージ [7-8](#)

ToS

説明 [32-4](#)

traceroute

「IP traceroute」を参照

「レイヤ 2 traceroute」を参照

traceroute mac ip コマンド [7-11](#)

traceroute mac コマンド [7-10](#)

trace コマンド [7-9](#)

TwinGig コンバータ

X2/TwinGig コンバータ モードの選択 [6-9](#)

使用時の制限事項 [6-9](#)

ポート番号設定 [6-8](#)

U

UDLD

イネーブル化 [24-3](#)

概要 [24-1](#)

ディセーブル化 [24-3](#)

デフォルト設定 [24-2](#)

UNIX Syslog サーバ

サポートされる機能 [44-12](#)

デーモンの設定 [44-11](#)

メッセージ ロギング設定 [44-11](#)

UplinkFast

MST [17-23](#)

イネーブルにする [18-17](#)

概要 [18-12](#)

User Based Rate Limiting

概要 [32-43](#)

設定 [32-44](#)

V

VACL

レイヤ 4 ポート演算 [39-15](#)

VLAN

ID (デフォルト) [13-4](#)

「PVLAN」も参照

RSPAN での送信元トラフィックを制限する [43-26](#)

RSPAN によるモニタ [43-24](#)

インターフェイスの割り当て [13-7](#)

概要 [13-1](#)

拡張範囲 [13-3](#)

サービス プロバイダー ネットワーク内のカスタマー

番号 [22-3](#)

設定 [13-5](#)

設定時の注意事項 [13-3](#)

説明 [1-5](#)

デフォルト設定 [13-4](#)

トランク上で許可される [15-7](#)

名前 (デフォルト) [13-4](#)

標準範囲 [13-3](#)

予約範囲 [13-3](#)

VLAN ACL

「VLAN マップ」を参照

vlan dot1q tag native コマンド [22-4](#)

VLAN ID、検出する [4-31](#)

VLAN Trunking Protocol

「VTP」を参照

vlan コマンド [13-6](#)

VLAN トランク

概要 [15-3](#)

VLAN ベース QoS、レイヤ 2 インターフェイス上での、
設定 [32-53](#)

VLAN マップ

VLAN への適用 [39-27](#)

アクセス拒否の例 [39-29](#)

エントリの作成および削除 [39-25](#)

エントリの順序 [39-24](#)

使用 (図) [39-5](#)

設定時の注意事項 [39-24](#)

設定する [39-23](#)

設定例 [39-28](#)

定義済み [39-3](#)

ネットワークでの使用 [39-28](#)

パケットの許可 [39-25](#)

パケットの拒否 [39-25](#)

表示 [39-30](#)

ルータ ACL [39-31](#)

VLAN マップ、PACL およびルータ ACL [39-37](#)

VLAN マネジメント ポリシー サーバ

「VMPS」を参照

VMPS

クライアントでのダイナミック アクセス ポートの設
定 [13-22](#)

コンフィギュレーション ファイルの例 [13-29](#)

- サーバの概要 [13-17](#)
 - 再試行間隔の設定 [13-24](#)
 - ダイナミック ポート メンバーシップ
 - 再確認する [13-23](#)
 - 例 [13-26](#)
 - データベース コンフィギュレーション ファイル [13-29](#)
 - メンバーシップの再確認 [13-23](#)
 - 割り当ての再確認 [13-23](#)
 - VMPS クライアント
 - 管理およびモニタリング [13-24](#)
 - スイッチの設定
 - IP VMPS アドレスの入力 [13-21](#)
 - VLAM メンバーシップの再確認 [13-23](#)
 - 再確認間隔 [13-24](#)
 - 再確認間隔の設定 [13-23](#)
 - ダイナミック ポート [13-22](#)
 - ダイナミック VLAN メンバーシップの概要 [13-20](#)
 - ダイナミック ポート VLAN メンバーシップのトラブルシューティング [13-25](#)
 - デフォルト設定 [13-20](#)
 - VMPS サーバ
 - 概要 [13-17](#)
 - セキュリティ モード
 - multiple [13-19](#)
 - open [13-18](#)
 - secure [13-19](#)
 - 代替 VLAN [13-19](#)
 - 不正な VMPS クライアント要求 [13-19](#)
 - Voice over IP
 - 設定 [33-1](#)
 - VPN
 - サービス プロバイダー ネットワーク内 [31-1](#)
 - フォワーディング [31-4](#)
 - ルーティングおよび転送テーブル
 - 「VRF」を参照
 - ルーティングの設定 [31-7](#)
 - ルート [31-2](#)
 - VRF
 - 定義 [31-4](#)
 - テーブル [31-1](#)
 - VTP
 - 「VTP バージョン 2」も参照
 - 概要 [13-7](#)
 - 設定 [13-12 ~ 13-17](#)
 - 設定時の注意事項 [13-11](#)
 - ディセーブル化 [13-16](#)
 - デフォルト設定 [13-12](#)
 - トランスペアレント モードの設定 [13-16](#)
 - モニタリング [13-16](#)
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング [22-8](#)
 - VTP アドバタイズメント
 - 説明 [13-9](#)
 - VTP クライアント
 - 設定 [13-15](#)
 - VTP サーバ
 - 設定 [13-14](#)
 - VTP 統計情報
 - 表示 [13-16](#)
 - VTP ドメイン
 - 説明 [13-8](#)
 - VTP バージョン 2
 - 「VTP」も参照
 - イネーブル化 [13-13](#)
 - 概要 [13-9](#)
 - VTP プルーニング
 - イネーブル化 [13-13](#)
 - 概要 [13-10](#)
 - VTP モード [13-8](#)
 - VTY および Network Assistant [12-11](#)
 - VVID (音声 VLAN ID)
 - 802.1X 認証 [34-18](#)
 - 設定 [33-3](#)
-
- W**
 - Wake-on-LAN
 - 802.1X の設定 [34-38](#)

WCCP

- 機能 [49-4](#)
- サービス グループ [49-6](#)
- 制約事項 [49-5](#)
- 設定例 [49-9](#)
- ルータでの設定 [49-2, 49-10](#)

Web キャッシュ

- 「キャッシュ エンジン」を参照 [xl](#)

web キャッシュ

- 「キャッシュ エンジン」を参照

Web キャッシュ サービス

- 説明 [49-4](#)

Web キャッシュ通信プロトコル

- 「WCCP」を参照 [xl, 49-1](#)

Web キャッシング

- 「Web キャッシュ サービス」を参照

- 「WCCP」も参照 [49-4](#)

Web スケーリング [49-1](#)

アクセス リスト フィルタリング、SPAN 機能拡張 [43-14](#)

アクティブ キュー管理 [32-15](#)

アクティブ キュー管理、DBL 経由の、Supervisor Engine 6-E での QoS [32-88](#)

アドバタイズメント、VTP

「VTP アドバタイズメント」を参照

アドレス

MAC アドレス テーブルを表示する [4-30](#)

「MAC アドレス」を参照

MAC、検出する [4-31](#)

スタティック

追加と削除 [4-27](#)

定義済み [4-19](#)

ダイナミック

エージング タイムを変更する [4-21](#)

削除する [4-22](#)

定義済み [4-19](#)

ラーニング [4-20](#)

アドレス解決 [4-31](#)

あ

アカウントティング

- 802.1X の設定 [34-31](#)

- TACACS+ での [3-17, 3-22](#)

アクション ドライバ、マーク付け [32-77](#)アクセス VLAN [15-7](#)アクセス グループ モード、PACL との併用 [39-35](#)アクセス グループ モード、レイヤ 2 インターフェイス上での設定 [39-35](#)

アクセス コントロール エントリ

- 「ACE」を参照

アクセス コントロール エントリおよびリスト [36-1](#)

アクセス ポート

- 設定 [15-8](#)

- ポートセキュリティの設定 [35-7, 35-21](#)

- レイヤ 2 プロトコル トンネリング [22-10](#)

アクセス リスト

- WCCP での使用 [49-8](#)

い

イネーブル化、SNMP の [50-16](#)

イネーブル モード [2-5](#)

インターネット グループ管理プロトコル

「IGMP」を参照

インターネット制御メッセージプロトコル

「ICMP」を参照

インターフェイス

概要 [6-1](#)

カウンタのクリア [6-24](#)

記述名の追加 [6-14](#)

再起動 [6-25](#)

情報を表示する [6-24](#)

設定 [6-2](#)

範囲設定 [6-4](#)

番号 [6-2](#)

命名する [6-14](#)

メンテナンス **6-23**

モニタリング **6-23**

「レイヤ 2 インターフェイス」も参照

レイヤ 2 モード **15-4**

インターフェイス上での QoS のイネーブル化またはディセーブル化 **32-52**

インターフェイスの信頼状態、設定

インターフェイスの範囲

設定 **6-4**

インターフェイス リンクおよびトランク ステータス イベント

設定 **6-25**

インライン パワー

Cisco IP Phone での設定 **33-5**

え

エージング タイム

MAC アドレス テーブル **4-21**

エッジ ポート

説明 **17-28**

お

オプション 82

DHCP スヌーピングのイネーブル化 **37-10**

オペレーティング システム イメージ

「システム イメージ」を参照

音声 VLAN

IP フォン音声トラフィック、説明 **33-2**

IP フォン データ トラフィック、説明 **33-2**

音声 VLAN ポート

802.1X の利用 **34-18**

音声インターフェイス

設定 **33-1**

音声トラフィック **11-2, 33-5**

音声ポート

VVID の設定 **33-3**

オンライン診断 **48-1**

か

階層、NTP **4-2**

階層型ポリサー、設定 **32-47**

階層型ポリシー、Supervisor Engine 6-E での QoS **32-89**

カウンタ

MFIB の削除 **29-21**

インターフェイスのクリア **6-24**

拡張範囲 VLAN

「VLAN」を参照

仮想 LAN

「VLAN」を参照

活性挿抜

「OIR」を参照

カプセル化タイプ **15-3**

簡易ネットワーク管理プロトコル

「SNMP」を参照 **xxxix**

環境状態

Supervisor Engine 6-E **10-2**

Supervisor Engine II-Plus から V-10GE **10-2**

環境モニタリング

CLI コマンドの使用 **10-1**

管理オプション

SNMP **45-1**

関連資料 **xi**

き

キーボード ショートカット **2-3**

ギガビット イーサネット SFP ポート

10 ギガビット イーサネットの配置 **6-7**

疑似ブリッジ

説明 **17-25**

キャッシュ **xi**

キャッシュ エンジン **xi, 49-1**

キャッシュ エンジン クラスタ **xi, 49-1**

キャッシュ ファーム

「キャッシュ エンジン クラスタ」を参照 **xi**

キャプチャ、制御パケット

モード選択 [39-12](#)

キューイング [32-6, 32-15](#)

境界ポート

説明 [17-27](#)

共有（帯域幅）、Supervisor Engine 6-E での QoS [32-83](#)

許可

TACACS+ での [3-17, 3-21](#)

許可ステートおよび無許可ステートのポート [34-4](#)

拒否、別の VLAN にあるサーバへのアクセスの [39-29](#)

緊急アラーム、Supervisor Engine 6-E システムの [10-3](#)

く

組み込み CiscoView

インストールおよび設定 [4-32](#)

概要 [4-31](#)

情報の表示 [4-34](#)

クライアント

802.1X 認証 [34-2](#)

クラスタリング スイッチ

概要 [12-10](#)

管理

CLI を使用した [12-12](#)

計画の考慮事項

CLI [12-12](#)

パスワード [12-7](#)

コマンド スイッチの特性 [12-11, 12-12](#)

VTY [12-11](#)

コミュニティへの変換 [12-9](#)

クリティカル認証

802.1X の設定 [34-35](#)

グローバル コンフィギュレーション モード [2-5](#)

クロック

「システム クロック」を参照

け

ゲートウェイ

「デフォルト ゲートウェイ」を参照

ゲスト VLAN

802.1X の設定 [34-31, 34-40](#)

検出、クラスタ

「自動検出」を参照

検出、単一方向リンク [24-1](#)

こ

高 CPU、ACL による、トラブルシューティング [39-12](#)

高速スパニングツリー

「RSTP」を参照

高速ドロップ

エントリの削除 [29-21](#)

エントリの表示 [29-20](#)

概要 [29-10](#)

候補

自動検出 [12-6](#)

候補スイッチ、クラスタ

定義 [12-12](#)

要件 [12-12](#)

コマンド

SNMP [50-16](#)

リスト [2-5](#)

コマンド スイッチ、クラスタ

要件 [12-11](#)

コマンド モード [2-5](#)

コマンドライン処理 [2-3](#)

コミュニティ VLAN [40-3, 40-4](#)

PVLAN としての設定 [40-13](#)

SPAN 機能 [40-12](#)

コミュニティ ストリング

概要 [45-4](#)

設定する [45-7](#)

コミュニティ ポート [40-4](#)

コンソール コンフィギュレーション モード [2-5](#)

コンソール ポート

ユーザ セッションの切断 [7-6](#)

ユーザ セッションのモニタリング [7-6](#)

コンパイル、MIB の [50-15](#)

コンフィギュレーション ファイル

保存 [3-10](#)

コンフィギュレーション レジスタ

起動時の設定 [3-28](#)

設定 [3-27](#)

設定の変更 [3-29 ~ 3-30](#)

ブート フィールド

値の表示 [3-30](#)

変更 [3-29](#)

な

サーバ、VTP

「VTP サーバ」を参照

サービス クラス

「CoS」を参照

サービス プロバイダー ネットワーク

カスタマー VLAN [22-2](#)

再送信回数

802.1X 認証の設定 [34-45](#)

再送信時間

802.1X 認証の変更 [34-44](#)

最大エージング タイム (STP)

設定 [17-18](#)

再認証、クライアントの

手動による設定 [34-46](#)

定期的なイネーブル化 [34-41](#)

削除

IP マルチキャスト テーブル エントリ [29-21](#)

サブドメイン、プライベート VLAN [40-2](#)

し

シーケンス番号、ログ メッセージの [44-8](#)

シェーピング、Supervisor Engine 6-E での QoS [32-81](#)

時刻

「NTP とシステム クロック」を参照

シスコ エクスプレス フォワーディング

「CEF」を参照

システム

起動時の設定 [3-28](#)

設定の確認 [3-10](#)

システム MTU

802.1Q トンネリング [22-5](#)

最大 [22-5](#)

システム アラーム

Supervisor Engine 6-E [10-5](#)

Supervisor Engine II-Plus から V-10GE [10-5](#)

概要 [10-4](#)

システム イメージ

指定 [3-31](#)

ブート フィールドの変更 [3-28](#)

フラッシュ メモリからの起動 [3-31](#)

システム クロック

概要 [4-2](#)

設定する

時間帯 [4-12](#)

手動で [4-11](#)

夏時間 [4-13](#)

日時を表示する [4-12](#)

「NTP」も参照

システム プロンプト、デフォルト設定 [4-14, 4-15](#)

システム名

手動での設定 [4-15](#)

デフォルト設定 [4-15](#)

「DNS」も参照

システム メッセージ ロギング

UNIX Syslog サーバ

サポートされる機能 [44-12](#)

デーモンを設定する [44-11](#)

ロギング機能を設定する [44-11](#)

イネーブルにする [44-4](#)

エラー メッセージの重大度を定義する [44-8](#)

概要 [44-1](#)

機能キーワード、説明 [44-12](#)

シーケンス番号、イネーブルとディセーブル [44-8](#)

設定を表示する [44-12](#)

- タイムスタンプ、イネーブルとディセーブル [44-7](#)
 - ディセーブルにする [44-4](#)
 - デフォルト設定 [44-3](#)
 - 表示宛先デバイスを設定する [44-4](#)
 - メッセージの形式 [44-2](#)
 - メッセージを制限する [44-10](#)
 - レベル キーワード、説明 [44-9](#)
 - ログ メッセージの同期をとる [44-6](#)
 - 自動 QoS
 - 「QoS」を参照
 - 自動検出
 - 考慮事項 [12-6](#)
 - 自動設定 [3-2](#)
 - 自動ネゴシエーション機能
 - 強制 10/100 Mbps [6-12](#)
 - シャットダウン
 - インターフェイス [6-25](#)
 - ジャンボ フレーム
 - MTU サイズの設定 [6-19](#)
 - MTU の概要 [6-18](#)
 - VLAN インターフェイス [6-19](#)
 - イーサネット ポート [6-18](#)
 - サポートするポートおよびラインカード [6-17](#)
 - サポートの概要 [6-17](#)
 - 重大度、システム メッセージで定義する [44-8](#)
 - 集約スイッチ、DHCP スヌーピングのイネーブル化 [37-10](#)
 - 冗長構成 (NSF) [9-1](#)
 - 設定
 - BGP [9-12](#)
 - CEF [9-11](#)
 - EIGRP [9-17](#)
 - IS-IS [9-14](#)
 - OSPF [9-13](#)
 - 冗長構成 (SSO)
 - redundancy コマンド [9-10](#)
 - 冗長性
 - NSF 対応サポート [9-1](#)
 - NSF 認識サポート [9-1](#)
 - redundancy コマンド [8-9](#)
 - 概要 [8-2](#)
 - 設定 [8-8](#)
 - 注意事項および制約事項 [8-6](#)
 - SNMP による変更 [8-12](#)
 - 同期化の概要 [8-5](#)
 - 冗長性 (NSF)
 - ルーティング プロトコル [9-6](#)
 - 冗長性 (RPR)
 - Route Processor Redundancy [8-3](#)
 - 同期化 [8-5](#)
 - 冗長性 (SSO)
 - Route Processor Redundancy [8-3](#)
 - 同期化 [8-6](#)
 - 消費される PoE の表示 [11-7](#)
 - 診断
 - Supervisor Engine V-10GE の電源投入時自己診断テスト [48-8](#)
 - オンライン [48-1](#)
 - トラブルシューティング [48-2](#)
 - 電源投入時自己診断テスト
 - 概要 [48-3](#)
 - 機能 [48-3](#)
 - 障害の原因 [48-14](#)
 - 侵入検知システム
 - 「IDS」を参照
 - 信頼される境界、QoS の [32-27](#)
 - 信頼状態
 - 設定 [32-54](#)
-
- す**
- スイッチ /RADIUS サーバ通信
 - 設定 [34-25](#)
 - スイッチ間リンク カプセル化方式
 - 「ISL カプセル化」を参照
 - スイッチド パケット
 - ACL [39-32](#)
 - スイッチド ポート アナライザ

- 「SPAN」を参照
 - スイッチのコミュニティ
 - Network Assistant のアクセス モード **12-8**
 - クラスタからの変換 **12-9**
 - 候補の特性 **12-6**
 - コミュニティ名 **12-7**
 - 設定情報 **12-8**
 - 通信プロトコル **12-7**
 - デバイスの追加 **12-8**
 - パスワード **12-7**
 - ホスト名 **12-7**
 - スイッチ ポート
 - 「アクセス ポート」を参照
 - スイッチポート
 - show interfaces **6-19, 6-26, 6-27**
 - スイッチング、NetFlow
 - キャッシュ エントリのエクスポート **46-9**
 - 収集のイネーブル化 **46-8**
 - スイッチド IP フローの設定 **46-8**
 - 設定 (例) **46-13**
 - 必要なハードウェアの確認 **46-6**
 - スーパーバイザ エンジン
 - ROM モニタ **3-26**
 - 環境モニタリング **10-1**
 - 冗長構成 **9-1**
 - 冗長へのアクセス **8-16**
 - スタートアップ コンフィギュレーション **3-26**
 - スタティック ルート **3-12**
 - スタンバイへのファイルのコピー **8-16**
 - 設定 **3-9 ~ 3-13**
 - 設定の同期化 **8-12**
 - デフォルト ゲートウェイ **3-11**
 - デフォルト設定 **3-1**
 - スケジューリング **32-15**
 - 概要 **32-6**
 - 定義 **32-5**
 - スタティック アドレス
 - 「アドレス」を参照
 - スタティック ホストの IP ポート セキュリティ
 - 概要 **37-22**
 - スタティック ルート
 - 確認 **3-12**
 - 設定 **3-12**
 - スタブルルーティング (EIGRP)
 - 概要 **26-12, 26-13**
 - 確認 **26-18**
 - 制約事項 **26-17**
 - 設定 **26-13**
 - 設定作業 **26-18**
 - 利点 **26-17**
 - スティック MAC アドレス
 - 設定 **35-7**
 - 定義 **35-4**
 - スティック ラーニング
 - アドレスの保存 **35-5**
 - イネーブル化 **35-5**
 - コンフィギュレーション ファイル **35-5**
 - 定義済み **35-5**
 - ディセーブル化 **35-6**
 - ストーム制御
 - 概要 **42-1**
 - ソフトウェアベース、実装 **42-2**
 - ハードウェアベース、実装 **42-2**
 - 表示 **42-7**
 - ブロードキャストのイネーブル化 **42-3**
 - マルチキャストのイネーブル化 **42-4**
 - スロット番号、説明 **6-2**
-
- ## せ
- 正規の時刻源、説明 **4-2**
 - 制御プレーン ポリシング
 - 「CoPP」の参照
 - 制限事項、TwinGig コンバータ使用時の **6-9**
 - 制限する、アクセスを
 - NTP サービス **4-8**
 - TACACS+ **3-15**
 - セカンダリ VLAN **40-3**

プライマリとの関連付け [40-15](#)

ルーティングの許可 [40-22](#)

セカンダリ ルート スイッチ [17-12](#)

セキュリティ

設定 [36-1](#)

設定、VLAN マップの [39-23](#)

設定、インターフェイス リンクおよびトランク ステータス イベントの [6-25](#)

設定可能な Leave タイマー、IGMP [20-4](#)

設定時の注意事項

SNMP [45-6](#)

設定、名前付き IPv6 ACL の [39-21](#)

設定、名前付き MAC 拡張 ACL の [39-19](#)

設定ファイル

DHCP で取得する [3-6](#)

TFTP サーバ アクセスを制限する [45-15](#)

システム接点と場所の情報 [45-15](#)

設定、フロー制御の [6-14](#)

設定、ユニキャスト MAC アドレス フィルタリングの [39-19](#)

設定例

SNMP [45-16](#)

設定、レイヤ 2 インターフェイス上でのアクセス グループ モードの [39-35](#)

選択、X2/TwinGig コンバータ モードの [6-9](#)

選択、電源管理モードの [10-8](#)

そ

送信キュー

「QoS 送信キュー」を参照

送信レート [32-58](#)

即時脱退、IGMP

イネーブルにする [21-9](#)

即時脱退処理

IGMP

「即時脱退処理」を参照

イネーブル化 [20-8](#)

速度

インターフェイスの設定 [6-11](#)

ソフトウェア

アップグレード [8-14](#)

ソフトウェア QoS、Supervisor Engine 6-E で [32-91](#)

ソフトウェア コンフィギュレーション レジスタ [3-27](#)

ソフトウェア スイッチング

インターフェイス [27-6](#)

使用する主なデータ構造 [29-7](#)

説明 [27-5](#)

た

対象読者 [xxxvii](#)

ダイナミック ARP インスペクション

ARP キャッシュ ポイズニング [38-2](#)

ARP パケットのレート制限 [38-4](#)

設定 [38-16](#)

DoS 攻撃、回避 [38-16](#)

インターフェイスの信頼状態、セキュリティ適用範囲 [38-3](#)

概要 [38-1](#)

スタティック バインディングのプライオリティ [38-4](#)

設定

着信 ARP パケットのレート制限 [38-16](#)

ログ バッファ [38-14](#)

設定する

DHCP 環境での [38-5](#)

非 DHCP 環境の ACL [38-11](#)

妥当性チェック、実行 [38-19](#)

ドロップされたパケットのロギング [38-4](#)

ポート チャネル、その動作 [38-5](#)

目的 [38-2](#)

ログ バッファ

設定 [38-14](#)

ダイナミック トランッキング プロトコル

「DTP」を参照

ダイナミック ポート VLAN メンバーシップ

再確認する [13-23](#)

トラブルシューティング [13-25](#)

- ホスト上の制限 [13-25](#)
 - 例 [13-26](#)
 - タイプ オブ サービス
 - 「TOS」を参照
 - タイマー
 - 「ログイン タイマー」を参照
 - タイムゾーン [4-12](#)
 - 対話、ベビー ジャイアント機能との [6-20](#)
 - ダウンロード、MIB の [50-14](#), [50-15](#)
 - タグ付きパケット
 - 802.1Q [22-3](#)
 - レイヤ 2 プロトコル [22-7](#)
 - 単一方向イーサネット
 - イネーブル化 [25-2](#)
 - 概要 [25-1](#)
 - 設定例 [25-2](#)
 - 単一方向リンク検出プロトコル
 - 「UDLD」を参照
 - 短縮形、コマンドの [2-5](#)
-
- ち**
- 注意
 - ユニキャスト RPF
 - オプションの BGP 属性 [28-5](#)
-
- つ**
- 追加、コミュニティへのメンバの [12-8](#)
-
- て**
- ディセーブル化
 - ブロードキャスト ストーム制御 [42-6](#)
 - ディセーブル化、マルチキャスト ストーム制御 [42-7](#)
 - ディセーブル ステート
 - RSTP の比較 (表) [17-25](#)
 - データベース エージェント
 - DHCP スヌーピングのイネーブル化 [37-13](#)
 - 設定例 [37-13](#)
 - 適用、レイヤ 3 インターフェイスへの IPv6 ACL の [39-22](#)
 - デフォルト ゲートウェイ
 - 設定 [3-11](#)
 - 設定の確認 [3-12](#)
 - デフォルト設定
 - 802.1X [34-22](#)
 - DNS [4-16](#)
 - IGMP スヌーピング [21-5](#), [21-6](#)
 - IGMP フィルタリング [20-19](#)
 - MAC アドレス テーブル [4-21](#)
 - Multi-VRF CE [31-4](#)
 - NTP [4-4](#)
 - RMON [47-3](#)
 - SNMP [45-6](#)
 - SPAN および RSPAN [43-6](#)
 - TACACS+ [3-18](#)
 - インターフェイスのリセット [6-28](#)
 - システム名とプロンプト [4-15](#)
 - システム メッセージ ロギング [44-3](#)
 - 自動 QoS [32-19](#)
 - バナー [4-17](#)
 - プライベート VLAN [40-11](#)
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング [22-10](#)
 - デフォルト設定、erase コマンド [3-32](#)
 - デュプレックス モード
 - インターフェイスの設定 [6-11](#)
 - 電源
 - インライン [33-5](#)
 - 電源管理
 - Catalyst 4500 シリーズ [10-6](#)
 - Catalyst 4500 スイッチの電源装置 [10-13](#)
 - Catalyst 4948 シリーズ [10-20](#)
 - 概要 [10-1](#)
 - 冗長構成 [10-6](#)
 - 冗長モードの設定 [10-11](#)
 - 複合モードの設定 [10-12](#)

電源管理、Catalyst 4500 スイッチの

冗長モード [10-8](#)複合モード [10-8](#)電源管理の制限事項、Catalyst 4500 スイッチでの [10-9](#)

電源管理モード

選択 [10-8](#)

電源装置

Catalyst 4500 スイッチで利用可能な電力 [10-13](#)可変 [10-7, 10-20](#)固定 [10-7](#)電源投入時自己診断テスト、Supervisor Engine V-10GE の [48-8](#)電源投入時自己診断テスト診断 [48-3, 48-14](#)

転送情報ベース

「FIB」を参照

転送遅延時間 (STP)

設定 [17-19](#)電力処理、Supervisor Engine II-TS に対する [11-11](#)

と

統計情報

802.1X の表示 [34-47](#)NetFlow 課金 [46-10](#)PIM の表示 [29-20](#)SNMP 入力と出力 [45-17](#)

トークンリング

サポートされていないメディア (注) [13-5, 13-9](#)独立 VLAN [40-3, 40-4](#)独立ポート [40-4](#)

特権

終了 [3-24](#)デフォルトの変更 [3-24](#)レベルの設定 [3-23](#)ログイン [3-24](#)特権 EXEC モード [2-5](#)

トポロジ変更通知処理

MLD スヌーピング

トポロジ変更通知処理 [21-5](#)

ドメイン ネーム システム

「DNS」を参照

ドメイン名

DNS [4-15](#)

トラップ

MAC アドレス通知を設定する [4-22](#)MAC 移動通知の設定 [4-25](#)MAC しきい値通知の設定 [4-26](#)概要 [45-1, 45-4](#)通知タイプ [45-11](#)定義済み [45-3](#)マネージャを設定する [45-11](#)有効化 [4-22, 4-25, 4-26, 45-11](#)

トラフィック

フラッドのブロッキング [41-2](#)トラフィック シューピング [32-17](#)

トラフィックの制御

ACL の使用 (図) [39-4](#)VLAN マップの使用 (図) [39-5](#)トラフィック マーキング手順のフローチャート [32-77](#)

トラブルシューティング

CiscoWorks での [45-4](#)traceroute での [7-8](#)システム メッセージ ロギングでの [44-1](#)トラブルシューティング、ACL による高 CPU の [39-12](#)

トランク

802.1Q の制約事項 [15-5](#)DTP をサポートしない装置のイネーブル化 [15-5](#)アクセス VLAN の設定 [15-7](#)インターフェイスのデフォルト設定 [15-6](#)概要 [15-3](#)カプセル化 [15-3](#)許容 VLAN の設定 [15-7](#)異なる VTP ドメイン [15-3](#)設定 [15-6](#)ネイティブ VLAN の指定 [15-7](#)

トランク ポート

PVLAN の設定 [40-18 ~ 40-19](#)ポート セキュリティの設定 [35-16](#)

トランスレーショナルブリッジ番号（デフォルト） **13-5**

トンネリング

定義 **22-1**

トンネルポート

802.1Q、設定 **22-6**

説明 **22-2**

他の機能との非互換性 **22-5**

な

夏時間 **4-13**

名前付き IPv6 ACL、設定

ACL

名前付き IPv6 ACL の設定 **39-21**

名前付き MAC 拡張 ACL

ACL

名前付き MAC 拡張の設定 **39-19**

名前付き集約ポリサー、作成 **32-32**

に

二重タグ付きパケット

802.1Q トンネリング **22-3**

二重タグパケット

レイヤ2 プロトコル トンネリング **22-9**

入力パケット、SPAN 拡張機能 **43-13**

認証

NTP アソシエーション **4-4**

TACACS+

キー **3-18**

定義済み **3-16**

ログイン **3-19**

「ポートベースの認証」も参照

認証、許可、アカウントティング (AAA) **36-1**

認証サーバ

RADIUS サーバ **34-3**

定義 **34-3**

認証失敗 VLAN 割り当て

802.1X の設定 **34-39**

ね

ネイティブ VLAN

802.1Q トンネリング **22-4**

指定 **15-7**

ネットワーク管理

RMON **47-1**

SNMP **45-1**

設定 **23-1**

ネットワーク耐障害性 **1-3, 17-22**

ネットワーク タイム プロトコル

「NTP」を参照

ネットワーク トラフィック、マーク付け **32-74**

は

バースト サイズ **32-33**

バースト レート **32-58**

バーチャルプライベート ネットワーク

「VPN」を参照

ハードウェアおよびソフトウェア ACL のサポート **39-5**

ハードウェア スイッチング **27-5**

配置、10 ギガビット イーサネット ポートおよびギガビット イーサネット SFP ポートの **6-7**

配置、10 ギガビット イーサネット ポートおよびギガビット イーサネット SFP ポートの WS-X4606-10GE-E および Supervisor Engine 6-E への **6-8**

パケット

ソフトウェア処理

QoS **32-18**

変更 **32-17**

パケット タイプ フィルタリング

SPAN 機能拡張 **43-16**

概要 **43-16**

パスワード

暗号化 **3-22**

イネーブル シークレット パスワードの設定 **3-14**

イネーブルパスワードの設定 [3-14](#)

イネーブルパスワードを忘れた場合の回復方法 [3-25](#)

回線パスワードの設定 [3-15](#)

クラスタでの [12-7](#)

パスワードに関する注意

暗号化 [3-23](#)

バナー

設定する

Message-of-the-Day ログイン [4-18](#)

ログイン [4-19](#)

デフォルト設定 [4-17](#)

表示時 [4-17](#)

範囲マクロ

定義 [6-5](#)

ひ

非 IPv4 トラフィックの一致 CoS

設定 [32-36](#)

非 IP トラフィック フィルタリング [39-20](#)

非 RPF トラフィック

冗長構成 (図) [29-10](#)

説明 [29-9](#)

光デジタル モニタ トランシーバのサポート [6-10](#)

ヒストリ

CLI [2-3](#)

非対称リンクと 802.1Q トンネリング [22-4](#)

表示、ストーム制御 [42-7](#)

標準範囲 VLAN

「VLAN」を参照

ふ

フィルタリング

VLAN での [39-23](#)

非 IP トラフィック [39-20](#)

ブート フィールド

「コンフィギュレーション レジスタのブート フィールド」を参照

不揮発性ランダムアクセス メモリ

「NVRAM」を参照

複数の転送パス [1-3, 17-22](#)

複製

説明 [29-8](#)

物理レイヤ 3 インターフェイス、設定 [26-11](#)

プライオリティ

着信フレームの CoS の変更 [33-5](#)

プライオリティ キューイング、Supervisor Engine 6-E での QoS [32-86](#)

プライベート VLAN

DHCP スヌーピングのイネーブル化 [37-12](#)

SVI [40-10](#)

エンドステーションアクセス [40-3](#)

コミュニティ VLAN [40-3, 40-4](#)

コミュニティ ポート [40-4](#)

サブドメイン [40-2](#)

セカンダリ VLAN [40-3](#)

デフォルト設定 [40-11](#)

独立 VLAN [40-3, 40-4](#)

独立ポート [40-4](#)

トラフィック [40-9](#)

複数のスイッチ間 [40-5](#)

プライマリ VLAN [40-2, 40-5](#)

ポート

コミュニティ [40-4](#)

独立 [40-4](#)

無差別 [40-5](#)

ポートセキュリティの設定 [35-14](#)

無差別ポート [40-5](#)

利点 [40-2](#)

プライマリ VLAN [40-2, 40-5](#)

PVLAN としての設定 [40-13](#)

セカンダリ VLAN との関連付け [40-15](#)

フラグ [29-11](#)

フラッシュ メモリ

システム ソフトウェア イメージのロード [3-31](#)

- セキュリティ上の注意事項 [3-31](#)
 - ルータの起動元としての設定 [3-31](#)
 - フラッドトラフィック、ブロッキング [41-2](#)
 - ブリッジ ID
 - 「STP ブリッジ ID」を参照
 - ブリッジプライオリティ (STP) [17-17](#)
 - ブリッジプロトコル データ ユニット
 - 「BPDU」を参照
 - プルーニング、VTP
 - 「VTP プルーニング」を参照
 - フロー制御、設定 [6-14](#)
 - フローチャート、トラフィック マーキング手順 [32-77](#)
 - ブロードキャスト ストーム制御
 - イネーブル化 [42-3](#)
 - ディセーブル化 [42-6](#)
 - ブロッキング ステート (STP)
 - RSTP の比較 (表) [17-25](#)
 - ブロッキング パケット [41-1](#)
 - プロトコル タイマー [17-4](#)
 - プロバイダー エッジ デバイス [31-2](#)
-
- へ
- 併用、アクセス グループ モードの PACL との [39-35](#)
 - ベビー ジャイアント
 - 対話 [6-20](#)
-
- ほ
- ポイントツーポイント
 - 802.1X 認証 (図) [34-2, 34-17](#)
 - ボーダー ゲートウェイ プロトコル
 - 「BGP」を参照
 - ポート
 - 「インターフェイス」も参照
 - ステータスの確認 [7-2](#)
 - ダイナミック VLAN メンバーシップ
 - 再確認 [13-23](#)
 - 例 [13-26](#)
 - 転送、再開 [41-3](#)
 - ブロッキング [41-1](#)
 - ポート ACL
 - 音声 VLAN [39-5](#)
 - 制限事項 [39-5](#)
 - 定義 [39-3](#)
 - ポート コスト (STP)
 - 設定 [17-16](#)
 - ポート集約プロトコル
 - 「PAgP」を参照
 - ポート ステート
 - 説明 [17-5](#)
 - ポート セキュリティ
 - 802.1X 認証を使用 [35-31](#)
 - 802.1X の利用 [34-14](#)
 - DHCP と IP ソース ガードを使用 [35-30](#)
 - QoS 信頼境界と [32-27](#)
 - RADIUS アカウンティング [34-16](#)
 - アクセス ポート上 [35-7, 35-21](#)
 - 違反 [35-6](#)
 - エージング [35-5](#)
 - 音声ポート上 [35-21](#)
 - スティッキー ラーニング [35-5](#)
 - 設定 [35-7](#)
 - 他の機能との [35-32](#)
 - 注意事項および制約事項 [35-32](#)
 - トランク ポート上 [35-16](#)
 - 注意事項および制約事項 [35-14, 35-17, 35-20, 35-32](#)
 - ポート モードの変更 [35-21](#)
 - 表示 [35-27](#)
 - プライベート VLAN 上 [35-13](#)
 - トポロジ [35-14, 35-17, 35-32](#)
 - ホスト [35-14](#)
 - 無差別 [35-15](#)
 - レイヤ 2 EtherChannel [35-32](#)
 - ポート チャネル インターフェイス
 - 概要 [19-2](#)
 - 作成 [19-7](#)

- 「EtherChannel」も参照
- ポートの信頼状態
 - 「信頼状態」を参照
- ポート番号設定、TwinGig コンバータによる **6-8**
- ポート プライオリティ
 - MST インスタンスの設定 **17-32**
 - STP の設定 **17-13**
- ポートベース QoS の機能
 - 「QoS」を参照
- ポートベース認証
 - 開始およびメッセージ交換 **34-3**
 - カプセル化 **34-3**
 - クライアント、定義 **34-2**
 - 設定時の注意事項 **34-23**
 - 説明 **34-1**
 - デバイスの役割 **34-2**
 - デフォルト値へのリセット **34-47**
 - デフォルト設定 **34-22**
 - 統計情報の表示 **34-47**
 - 方式リスト **34-23**
 - ポート セキュリティ
 - マルチホスト モード **34-7**
 - ホスト モード **34-6**
 - マルチ ホスト モード、説明 **34-6**
- ポートベースの認証
 - 802.1X アカウンティングの設定 **34-31**
 - MAC 認証バイパスを使用 **34-9**
 - MAC 認証バイパスを使用した設定 **34-34**
 - VLAN 割り当てを使用 **34-7**
 - Wake-on-LAN を使用した設定 **34-38**
 - イネーブル化 **34-23**
 - 音声 VLAN を使用した 802.1X **34-18**
 - 許可ステータスの制御 **34-5**
 - クリティカル認証による設定 **34-35**
 - クリティカル認証を使用 **34-12**
 - ゲスト VLAN の設定 **34-25**
 - ゲスト VLAN を使用 **34-8**
 - ゲスト VLAN を使用した設定 **34-31, 34-40**
 - 再送信回数の設定 **34-45**
 - 再送信時間の設定 **34-44**
 - サポートされないポート **34-4**
 - 手動によるクライアントの再認証の設定 **34-46**
 - スイッチ/RADIUS サーバ通信の設定 **34-25**
 - 設定
 - マルチドメイン認証 **34-27**
 - 待機時間の変更 **34-43**
 - 定期的な再認証のイネーブル化 **34-41**
 - トポロジ、サポート対象 **34-21**
 - 認証失敗 VLAN 割り当てを使用した設定 **34-39**
 - 複数ホストのイネーブル化 **34-42**
 - ポート セキュリティを使用した利用 **34-14**
 - マルチドメイン認証 **34-19**
- ホスト
 - ダイナミック ポート上の制限 **13-25**
 - ホストを静的に設定 **20-10**
- ホスト ポート
 - 種類 **40-4**
- ホットスタンバイ ルーティング プロトコル
 - 「HSRP」を参照
- ホップ カウント
 - MST ブリッジの設定 **17-28**
- ポリサー
 - 説明 **32-5**
- ポリシー
 - 「QoS ポリシー」を参照
- ポリシーの関連付け、Supervisor Engine 6-E での QoS **32-91**
- ポリシー マップ
 - インターフェイスへの付加 **32-41**
 - 設定 **32-37**
- ポリシー マップ マーキング アクション、設定 **32-79**
- ポリシング
 - 「QoS ポリシング」を参照
 - 実装方法 **32-74**
- ポリシング機能
 - タイプ **32-10**
- ポリシング設定 DSCP マップ **32-60**

ま
マーキング

 ハードウェア機能 **32-79**

 マーキングのサポート、マルチ属性 **32-78**

 マーク付け、アクション ドライバの **32-77**

 マーク付け、ネットワーク トラフィックの **32-74**
マクロ

「SmartPort マクロ」を参照

マッピング

 DSCP 値から送信キュー **32-56**

 DSCP マークダウン値 **32-25**
マッピング テーブル

 DSCP の設定 **32-59**

 説明 **32-15**
マニュアル

 関連 **xi**

 構成 **xxxvii**
マルチ VRF CE

 表示 **31-13**

 モニタリング **31-13**
マルチキャスト

「IP マルチキャスト」を参照

 マルチキャスト クライアント エージングの堅牢性 **21-3**
マルチキャスト グループ

 スタティックな加入 **21-7**
マルチキャスト ストーム制御

 WS-X4014 での抑制 **42-5**

 WS-X4016 での抑制 **42-5**

 イネーブル化 **42-4**

 ディセーブル化 **42-7**
マルチキャスト ストーム制御

 Supervisor Engine 6-E での抑制 **42-4**

 WS-X4515、WS-X4014、および WS-X4013+
Supervisor Engine **42-5**

 WS-X4516 Supervisor Engine **42-5**
マルチキャスト パケット

 ブロックング **41-2**
マルチキャスト ルータ

 フラッディングの抑制 **20-11**

 ルーティング テーブルの表示 **29-16**

 マルチキャスト ルータ インターフェイス、モニタリ
ング **21-12**

 マルチキャスト ルータ 検出 **21-3**

 マルチキャスト ルータ ポート、追加する **21-8**
マルチドメイン認証

「MDA」を参照

 設定 **34-27**

 ホスト モードの概要 **34-6**

む
無差別ポート

 PVLAN の設定 **40-16**

 コンフィギュレーション モード **40-22**

 定義 **40-5**

め

 メッセージ、ユーザに対するバナーを使用した **4-17**

 メトロ タグ **22-2**
メンバ

 自動検出 **12-6**
メンバ スイッチ

 管理する **12-12**
メンバ スイッチ、クラスタ

 定義 **12-11**

 要件 **12-12**

も

 モード、制御パケットのキャプチャの、選択 **39-12**
モジュール

 ステータスの確認 **7-1**

 電源切断 **10-20**
モニタリング

 802.1Q トンネリング **22-13**

 ACL 情報 **39-40**

IGMP

スヌーピング 21-11

IGMP スヌーピング 20-13

IGMP フィルタリング 20-22

VLAN フィルタ 39-30

VLAN マップ 39-30

スイッチ間でのトラフィック フロー 47-1

トンネリング 22-13

マルチ VRF CE 31-13

マルチキャスト ルータ インターフェイス 21-12

レイヤ 2 プロトコル トンネリング 22-13

FIB 28-2

エンタープライズ ネットワーク (図) 28-6

確認 28-10

失敗 28-3, 28-4

送信元アドレス 28-3

パケット、ドロップ 28-3

実装 28-4

制約事項

基本 28-8

ルーティングの非対称性 28-7

ルーティングの非対称性 (図) 28-8

セキュリティ ポリシー

攻撃、軽減 28-5

適用 28-5

展開 28-5

トンネリング 28-5

設定 28-9

BOOTP 28-8

DHCP 28-8

エンタープライズ ネットワーク (図) 28-6

確認 28-10

作業 28-9

前提条件 28-9

ルーティング テーブルの要件 28-7

(例) 28-12

説明 28-2

前提条件 28-9

送信元アドレス、確認 28-3

失敗 28-3

(図) 28-3, 28-4

ディセーブル化 28-11

適用 28-5

展開 28-5

トラフィック フィルタリング 28-5

トンネリング 28-5

パケット、ドロップ (図) 28-4

メンテナンス 28-11

モニタリング 28-11

ルーティング テーブルの要件 28-7

ゆ

ユーザ EXEC モード 2-5

ユーザ セッション

切断 7-6

モニタリング 7-6

ユニキャスト

「IP ユニキャスト」を参照

ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング

CPU パケットと 4-29

スタティック アドレスを追加する 4-29

設定時の注意事項 4-29

説明 4-29

ブロードキャスト MAC アドレスと 4-29

マルチキャスト アドレスと 4-29

ルータ MAC アドレスと 4-29

ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング、設定

ACL

ユニキャスト MAC アドレス フィルタリングの
設定 39-19ユニキャスト RPF (ユニキャスト Reverse Path
Forwarding)

BGP 属性

注意 28-5

CEF

テーブル 28-7

要件 28-2

ユニキャスト トラフィック

ブロック [41-2](#)

ユニキャスト フラッディング ブロック

設定 [41-1](#)

よ

予約範囲 VLAN

「VLAN」を参照

ら

ラベル、定義 [32-3](#)

り

リスニング ステート (STP)

RSTP の比較 (表) [17-25](#)

リセット、インターフェイスのデフォルト設定への
の [6-28](#)

リセット、スイッチのデフォルトへの [3-32](#)

リモート ネットワーク モニタリング

「RMON」を参照

略語、リスト [A-1](#)

リリース 7.7 の新しいソフトウェア機能

TDR [7-3](#)

履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルと番号
号 [44-10](#)

リンクおよびトランク ステータス イベント

インターフェイスの設定 [6-25](#)

隣接関係テーブル

説明 [27-2](#)

統計情報の表示 [27-9](#)

る

ルータ ACL

VLAN マップとの併用 [39-31](#)

説明 [39-3](#)

ルータ ACL、PACL の VLAN マップとの併用 [39-37](#)

ルーテッド パケット

ACL [39-32](#)

ルート ガード

MST [17-23](#)

イネーブルにする [18-2](#)

概要 [18-2](#)

ルート ターゲット

VPN [31-4](#)

ルートブリッジ

MST での選択 [17-23](#)

設定 [17-10](#)

ルート マップ

PBR [30-2](#)

定義 [30-3](#)

ループ ガード

MST [17-23](#)

概要 [18-3](#)

設定 [18-5](#)

れ

レイヤ 2 traceroute

1 ポートに複数のデバイス [7-10](#)

ARP [7-10](#)

CDP [7-9](#)

IP アドレスおよびサブネット [7-10](#)

MAC アドレスおよび VLAN [7-10](#)

使用上の注意事項 [7-9](#)

ホスト間パス [7-9](#)

マルチキャスト トラフィック [7-10](#)

ユニキャスト トラフィック [1-21, 7-9](#)

レイヤ 2 アクセス ポート [15-8](#)

レイヤ 2 インターフェイス

PVLAN トランク ポートとしての設定 [40-18](#)

PVLAN ホスト ポートとしての設定 [40-17](#)

PVLAN 無差別ポートとしての設定 [40-16](#)

show interfaces コマンド [15-7](#)

VLAN の割り当て [13-7](#)

設定 [15-6](#)

設定のディセーブル化 [15-10](#)

デフォルト [15-5](#)

モード [15-4](#)

レイヤ 2 インターフェイス、アクセス グループ モードの
設定 [39-35](#)

レイヤ 2 インターフェイスのタイプ

設定 [40-22](#)

リセット [40-22](#)

レイヤ 2 スウィッチング

概要 [15-1](#)

レイヤ 2 制御パケット QoS

概要 [32-62](#)

機能の相互作用 [32-66](#)

使用上の注意事項 [32-65](#)

レイヤ 2 トランク

概要 [15-3](#)

設定 [15-6](#)

レイヤ 2 フレーム

CoS による分類 [32-2](#)

レイヤ 2 プロトコル トネリング

注意事項 [22-10](#)

デフォルト設定 [22-10](#)

レイヤ 2 プロトコル パケットのシャットダウンしきい
値 [22-10](#)

レイヤ 2 プロトコル パケットのドロップしきい
値 [22-10](#)

レイヤ 3 インターフェイス

インターフェイスとしての VLAN [26-6](#)

概要 [26-1](#)

物理 [26-2](#)

論理 [26-2](#)

設定時の注意事項 [26-5](#)

レイヤ 3 インターフェイス、IPv6 ACL の適用 [39-22](#)

レイヤ 3 インターフェイス カウンタ、概要 [26-4](#)

レイヤ 3 インターフェイス カウンタ、設定 [26-10](#)

レイヤ 3 パケット

分類方式 [32-2](#)

レイヤ 4 ポート演算

制約事項 [39-16](#)

設定時の注意事項 [39-16](#)

レポート抑制、IGMP

ディセーブルにする [21-11](#)

ろ

ロード バランシング

CEF の設定 [27-7](#)

EtherChannel の設定 [19-13](#)

宛先別 [27-7](#)

概要 [19-5, 27-6](#)

ログイン タイマー

変更 [7-6](#)

ログイン認証

TACACS+ での [3-19](#)

ログイン バナー [4-17](#)

ログ メッセージのタイムスタンプ [44-7](#)

論理レイヤ 3 インターフェイス

設定 [26-5](#)